

愛道

aidou

Vol.
147

令和8年



あすわ

「生きる」に、伴走し続ける。

社会福祉法人 足羽福祉会

愛のささえ ai no sasae

令和7年6月1日から令和7年11月30日までの方々を掲載させていただきました。

足羽ワークセンター

■研修・実習・見学
福井大学教育学部附属特別支援学校
／福井県立嶺北特別支援学校／福井
県立福井南特別支援学校／明倫中
学校／大東中学校／足羽第一中学校
／福井大学／福井工業大学／京都女
子大学

バステル

■研修・実習・見学
福井大学教育学部／福井南特別支
援学校

足羽更生園

■ボランティア・交流・訪問
村尾恵子／宮浦知恵子／藤田菜緒／
北陸電力労働組合 福井中央分会／
すだちの家／希望園
■研修・実習・見学
上越福祉会／福井大学／かすみが丘
学園／福井工業大学／なにわの里
／福井県立大学／西部民生児童委員
／仁愛大学 月刊サポート委員／日本福
祉大学／福井保護観察所／愛知淑徳
大学／滋賀県民生児童委員／つぐみ
福祉会職員
■寄付・寄贈
連合福井／近ちゃんふあ〜む／福山公
基

足羽サポートセンター

■研修・実習・見学
嶺北特別支援学校／福井大学教育学
部附属特別支援学校

あすわ相談支援事業所リアン

■研修・実習・見学
日本福祉大学／福井県立大学

愛全園

■寄付・寄贈
梅田健二
■ボランティア・交流・訪問
ダンディ合唱団
■研修・実習・見学
福井大学／福井県立大学／日本福祉
大学／嵯峨美術大学／福井県医療福
祉専門学校／福井市医師会看護専門
学校／福井県警察学校／福井農林高
等学校／啓新高等学校／大東中学校
／岡保地区社会福祉協議会

フレンズあすわ

■寄付・寄贈
福井フェニックスライオンズクラブ
■ボランティア・交流・訪問
福井県医療福祉専門学校／福井フェ
ニックスライオンズクラブ／西藤島小
学校／御幸保育園／もみじ児童館／
森田保育園／西部保育園／足羽東こ
ども園／和田こども園
■研修・実習・見学
仁愛女子短期大学／仁愛大学／福井
県立大学／足羽東こども園／はぁも
にい

フレンズみゆき

■ボランティア・交流・訪問
澤田唯菜／久所明生／石田彩音

フレンズどれみ

■寄付・寄贈
酒井悠香
■ボランティア・交流・訪問
Bメイト／河合小学校
■研修・実習・見学
仁愛女子短期大学

あすわ第1・2・3

■ボランティア
服部博之
■研修・実習・見学
清水特別支援学校保護者・教員／福
井県立大学／牛場裕治

足羽利生苑

■寄付・寄贈
前川雅彦
■研修・実習・見学
福井県警察学校／光岡俊／宮本馨／
福井大学医学部医学科／小寺由香里
／吉村瑠美
■ボランティア・交流・訪問
古市麻美／岡保大正琴クラブ／野坂
幸江／錠詰幸恵／日っ出門座／酒生
ガールスカウト

グループホーム美山

■寄贈
梅田悠一郎／前田一枝／森田守生／
笹井善孝／木ノ内千数慧／林 敦子
／高橋香春／富田優美子／清水九十
九／道坂由美子
■ボランティア
杉本黛亮（美山中学校）／家接 忠

／家接加津代／上田悠平／大橋隆
雄／木ノ内千数慧／清水智恵／高
橋孝一／道坂由美子／福岡 渉／
福岡正都／山本澄子

カラフル

■見学・実習
清水特別支援学校／嶺北特別支
援学校／福井県立大学生（ソーシャル
ワーク実習）／大東中学校（2年生）
職場体験／つぐみ福祉会職員
■ボランティア
オートハープ演奏（北川）／卓球バ
レー講師（斉門）／サマーボランティ
ア（北陸高校）／福井県スポーツ協
会（スポーツ推進委員）／里芋掘り
交流（東藤島地区）／蕎麦打ち地域
交流（円山地区）

スマイル

■見学・実習
清水特別支援学校教諭／放課後等
ディサービスからふる／嶺北特別支
援学校／南特別支援学校／成和中
学校（2年生）／足羽第一中学校（2年
生）／つぐみ福祉会職員
■ボランティア
ミュージックケア講師（西浦）／福井
県スポーツ協会（スポーツ推進委員）
／浅原寛子（マット）

敬称略

編集後記

去年はマラソンや太鼓に挑戦したり、
新しい仕事が増えたりと一昨年と同じ
くらい変化がある年でした。今年も新
しいことに挑戦して、自分のいい経験
にできたらいなと思います。

山崎（美）

去年は「つながり」を感じる一年で
した。今年はエキセントリックな年
にしていきたいです！

丹代（本）

寒くなるにつれて食欲が増してきま
した。食べ過ぎと健康に気を付け
て、寒い冬を乗り越えたいです！

鈴木（更）

冬と言えば、物欲の冬です。最近も
セールにつられて散財してしまいま
した。今年こそは貯金を頑張りたい
！と毎年思っています。頑張ります。
整理整頓もしてQOLを上げて
いきたいです。

藤嶋（フミ）

就職された方へのインタビューを行
い、とても良いお話を聞くことがで
きました。特に就職を目指す方への
アドバイスを聞いて、実際に就職を
目指している方にすぐに伝えたいと
いう気持ちになり、とても感動しま
した。

伊江（ハ）

社会福祉法人 足羽福祉会

法人本部／福井県福井市柳野町 20-7 TEL.0776-41-3108

子ども福祉部門

啓明児童クラブ
上文殊児童クラブ
足羽東こども園
足羽学園
子ども発達支援センター
フレンズあすわ
フレンズみゆき
フレンズどれみ

障がい者福祉部門

足羽ワークセンター
足羽サポートセンター
バステル
スマイル
カラフル
あすわ相談支援事業所リアン
足羽更生園
あすわ第1／あすわ第2／あすわ第3

高齢者福祉部門

愛全園
足羽利生苑
グループホーム美山
福井大東包括支援センター
（ほやねっと大東）



足羽川ふれあいマラソン2025

実施
レポート!

第

12回大会となりました今回も、地域の皆さまの温かいご支援と約

1500名のランナー、約250名のボランティアの皆さまと共に、無事開催することができました。

大会開催を11月に変更してから3回目となりましたが、過去2回は天候に恵まれませんでした。

しかし今回は天気にも恵まれ、街を彩る紅葉を楽しみながら、木田地区・足羽川堤防沿いの平坦コースをランナーの皆さまが力強く走り抜けておられました。

初心者からベテランランナーまで誰でも楽しめるイベントを目指し、コースは、最長のハーフをはじめ、親子で参加できるファミリーラン、ファンランなどさまざまなコースを用意。参加ランナーには車椅子の方や、障がいのある方も出場されました。

本イベントを通じて福祉を身近に感じてもらえたなら、とても嬉しいですね。

これからも固定概念にとらわれない取り組み、地域に根ざした活動を続けていきますので、今後とも応援よろしくお願いたします。



協賛各社

《特別協賛企業》

(株)日本エー・エム・シー／福井キャノン事務機(株)／西田建設(株)／日華化学(株)／セーレン(株)／(株)ミルコン／(株)メディベック／晩産業(株)／(株)オルグワークス／ユニフォームネクスト(株)／福井県民生協同組合

《協賛企業》

福井県知的障害者福祉協会／福井県知的障害児者生活サポート協会／福井県社会就労センター協議会／(株)若越教育振興会／清川メッキ工業(株)／(株)ジャクエツ 福井店／(株)福畜／北陸レジャーレントール(株)／たにはた歯科クリニック／(有)エスプランニング／(株)ミタス／サイオオペックス(株)／(株)マルゼン福井営業所／エートセブン(有)／(株)アコス／ツチダ映像／(株)福井観光トラベルサービス／福井県厚生農業協同組合連合会／公益財団法人 福井県予防医学協会／東武トップアース(株)福井支店／(株)Lean on Me／(有)北陸精巧舎／(有)共栄建機／(株)カリョー／夢・創造足羽会／(株)STOKE／美容室non-non／(株)ソリッドラボ／米月(株)／鯖江交通(株)／医療法人和幸会 本多整形外科医院／石黒住建(株)／ラブ(株) ベットメモリアルラブ／辻正工業(株)／ホンダカーズ福井(株)／真栄青果(株)／(株)カワグチ／あおい商事(株)／村中建設(株)／松葉湯／特定非営利活動法人アサーティブジャパン／コメダ珈琲店 福井木田橋通り店／有限会社つきみ旅館／学校法人 青池学園／(株)熊谷組／協同組合福井ショッピングモビル／(株)松岡屋／技建工業(株)／医療法人 福山医院／(株)エコ・システム／パニオン工芸(株)／旭工業(株)／(株)オフィスサポートBP／(株)福井銀行 福井中央支店／(株)北陸銀行 福井東支店／翔寓住建／美山地区介護事業者連絡会／横山電機(株)／(株)ジゴスベック／ヨシダ工業(株)／米づくり専業農家 あきあかね／ネットヨタ福井(株)／(有)水嶋建築設計／(株)ウウシ／(一社)朝倉氏遺跡保存協会／K・Lait(株)／P-isアスリートクラブ／(株)プリバント／山甚燃然(株)／(株)スリーピーススタイル／(株)ビー・アイ企画／データシステム(株)／バックージブラザ 福井関屋町店／(株)イチネン／アドヴァンス近信／TheN'S仲村の家具／(株)ハヤカワ／三和イコール企画(株)／矢納ともえ／菓心所 菓子の木

ボランティア

木田体育振興会／明倫中学校 PTA／酒生体育振興会／福井市明倫中学校／福井市足羽第一中学校／福井高校／北陸高校／福井県社会福祉協議会／福井市社会福祉協議会／福井市子ども会育成連合／三和イコール企画(株)／(株)ビー・アイ企画／ネットヨタ福井(株)／清川メッキ工業(株)／(株)福井村田製作所／福井キャノン事務機(株)／日華化学(株)／(株)熊谷組／(株)サカイエステック／(株)メディベック／ヨシダ工業(株)／あいおいニッセイ同和損害保険(株)／大北久保建設(株)／(福)光道園／(福)つぐみ福祉会／(福)陽光会 ゆめの里／障がい者支援センターひまわり／SeRV ふくい／JA 福井県／福井県民生協同組合／アセアンテクノロジー(株)／たかやなぎはりきゅう整骨院／福井銀行福井中央支店／北國銀行／福井銀行福井中央支店／福井県自転車競技連盟／IS ネットふくい／GEBAGEBA／家接 忠／家接 加津代／木村 順一／高田 稔浩／中上 東／高柳 信也／大網 謙真／渡辺 昂輝／岩田 百志／谷崎 利佳／篠原 長司／山下 勝弘／米村 優奈／山口 佳子／高嶋 沙和／夏山 晴美／黒田 珠優

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昨年は高市早苗氏による初の女性首相就任、大阪・関西万博の開催、夏の猛暑、クマ被害などといったニュースだけでなく、国民の5人に一人が75歳以上という超高齢化社会の始まりとして、私たちの暮らしにおいても物価高や極端な人不足、地域の減少など、じわじわと「社会の変化」を感じさせられた1年でもあったと思います。

「変化」というと、不安に感じる人もいらっしゃるかもしれませんが、昨年の最も感動した言葉として「名言グランプリ」に選ばれた黒柳徹子さんの「好奇心の扉だけは常に開けておいた方がいい」という言葉にあるように、変化そのものよりも、どう受け止めて、どう生きるかの方が大切だと考えます。

今回の愛道でも取り上げていますが、昨年、足羽福祉会では地域や社会との新たなつながりの機会を得ることができました。

一つ目は、愛全園のコミュニティホールを使って11月に開催した啓蒙地区の写真展です。この企画は、愛全園と地域とのつながりを深めたいと考える職員と、法人職員がプライベートで活動している写真クラブと、啓蒙公民館とのコラボレーションによってできたものです。地域の過去の写真を地域の方々の協力で集めながら当時の話を聞き、現在の地域を利用者の方とともに歩いて写真に収め、それらを展示しました(詳しくは5～6ページをお読みください)。

二つ目は福井大学国際地域学部の学生による、足羽福祉会の現場を調査しての福祉の課題解決に向けた取り組みです。ほとんど福祉との接点なかった学生さんたちですが、現場の職員への聞き取りや実習を通して、現場の職員の熱い想いや素晴らしい取り組みが社会からあまり知られていないことに着目し、もっと一般の人が関心を持ってもらうために「福祉かるた」の制作に取り組んでいるというものです(9～10ページ)。

いずれの取り組みも、私たちだけでは成しえず、関係した方々とのつながりの中で、「好奇心を持って取り組み、新たなつながりを得ていくプロセス」によって生まれた結果です。それこそが、「変化」のポジティブな側面でもあると思います。

今年も利用者の方やご家族、地域社会の方々と共に共生社会の実現を目指して、「変化」を楽しみながら職員一同取り組んでいきます。何卒ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。



社会福祉法人 足羽福祉会 理事長 高村 昌裕

愛道

aidou

Vol.147

令和8年1月1日発行

COVER PHOTO

愛全園で開催された啓蒙地区写真展にて久々の集合となった「啓蒙昔の話伝え隊」の皆様。これまでそして現在も地区を盛り上げるため尽力されています。



CONTENTS

- 01 新年のご挨拶／目次
- 02 足羽川ふれあいマラソン2025
- 03 特集
私の就職ストーリー
～つながりと安心が自信になった～
- 05 〔イベント紹介〕啓蒙地区写真展
- 07 足羽福祉会インフォメーション
- 09 福祉のイメージをよくしたい!!
学生チームが挑んだ2年間の取り組み
～福井大学PBL×足羽福祉会～

私の就職ストーリー

つながりと安心が自信になった

就 職へ向けた一歩を踏み出すまでには、不安や迷いがつきものです。今回話をうかがったAさんも、最初は「見学だけなら」という気軽な気持ちから始まり、体験・実習を通して少しずつ就職を意識するようになりました。支援を受けながら自分のペースで進めたことで、不安が和らぎ、「ありがとう」と言われる瞬間に仕事の喜びを感じられるようになったAさん。長く続けていきたいという今の思いと、これから就職を目指す人へのアドバイスを伺いました。

就職までの流れを教えてください

パステルから見学行きましょうって言われて見学や体験に行ったのが最初です。その時点では見に行く程度なら、体験までなら良いかなって軽い気持ちで行きました。その後の実習は不安な気持ちはありましたけど、採用されるわけではないのでやっぱり途中でやめておきますって言える、と思うとそこまで不安はなかったです。実習2週間が終わってここで決めますかって話になった時も、ここだと同じ法人で全く知らない場所でもないし、何かあった時にすぐ対応できるかなって思えたのが気分的にも楽で、決め手になりました。



就職を意識し始めたタイミング、きっかけはいつですか？

早く就職しないといけないという気持ちがありました。当時一緒に活動していた人たちが就職決まって離れたこともあって、焦ったのかもしれないです。パステルを利用する前の仕事で事情があって長く続かなくて、また何か起きるかもしれないという不安もあったけど、やっぱり何とかしないかって気持ちの方が強かったです。

就職を考えた時、一番不安に思ったこととその解決方法はどんなのがありますか？

やっていくからには長く続けていきたくかったので、続けていけるのかなって不安はありました。ただ、今はその気持ちはないです。仕事をしているとそういうことを考えている暇はないので。



パステルを経て就職して良かったと思うところはありますか？

一人でどうにかしろと言われてできることではないので、支援を受けられたのは良かったのかなと思います。

今の就職先で良かったと思うところはありますか？

やっぱりパステルとつながりがある所の方が何か問題があった時も発信がしやすいですね。相談は内容に応じて職場とパステルに分けて相談してます。



最後に、就職を目指す人へのアドバイスをお願いします

仕事に関してはやる気があるかが大事だと思います。能力関係なしに仕事をやりたいって気持ちがあればどこかに就職できるんだと思います。あとは自分を知ること、自分のレベルに応じた仕事を探すのが良いと思います。高みを目指し過ぎて自分に負担がかかるんでは意味がないので、身の丈にあった仕事に巡り合えば良いんじゃないですか。あとは、あまり条件を多くし過ぎない方が良いのかもしれないです。働きやすさや環境、よりお金を稼げる所等、どんな条件を一番にするかによって目指す方向性が変わってくるので、自分が目指すべき方向性をはっきりしておくと探しやすいかもしれないですね。

仕事っていいなと思う瞬間はどんな時ですか？

何かやった時に「ありがとう」と言われるとやって良かったなって思います。例えば目の前のテーブルを拭いたりしていると「ありがとう」と言ってくれる利用者さんがいるので、その時は良かったなって思います。あと、給料がもらえるのも充実感に繋がります。

今後の夢を教えてください

できるだけ長く続けていけたらと思います。続けていくためには困った時には相談しようと思う心の余裕があると続けていけるのかなと思います。

パステルとは？

病気や障がい等、生活に困り感を抱える方への、自立生活・就労サポートを行っています。自立訓練事業(生活の基盤を整える)、就労移行支援事業(就職をサポートする)、就労定着支援事業(就労定着をサポートする)の3つの事業を行っています。



啓蒙地区写真展



過去の写真は
一般公募!



地域の方から
掘り出し写真が
たくさん発掘
されました!

フォトウォークの
参加者みんなで!



展示レイアウトは僕らの写真展様が
監修。現代を練り歩くフォトウォークも
企画いただき、啓蒙地区を盛り上げて
いただきました!

僕らの写真展

写真展を開催するコミュニティ。
SNSの先にある写真の楽しさを追求している。



【Instagramアカウント】
@bokurano_shashinten



歴史の交差点では「昔」の写真と
同じ場所の「今」の写真を比べるこ
とで交わる瞬間を演出しました。航
空写真とドローン写真の比較も!?



町の姿を見比べる
啓蒙昔の話伝え隊の皆様



展示の様子



思い出話に
花が咲く会場



11月2日、3日に足羽福祉会 高齢者福祉施設「愛全園」で「啓蒙地区写真展」を開催しました。

本企画は「愛全園」「啓蒙公民館」「僕らの写真展」による共同企画です。

展示テーマを「文化継承」とし、「過去の道」「現在の道」「歴史の交差点」の3コーナーを設け、歩みを振り返りながら現代の啓蒙地区へつないでいくプロセスをレイアウトで表現しました。

来場者が写真を見ながら「懐かしいね」「この場所、今もあるよ」と語り合う姿が心地よく、写真を通して自然に会話や思い出が生まれる光景が印象的でした。

写真展を通して、写真が「記録」を超えて「つながり」を生む力を持つことを実感しました。

この日には、当時の啓蒙地区を盛り上げた「啓蒙昔の話伝え隊」の皆様が久々に集結し、集合写真を撮影できました。その時の情景はなんともいえない感動の瞬間でした。

人と人、福祉と地域をつなぐきっかけとして、今後もこうした取り組みを続けていきたいと思っています。

ご来場くださった皆様、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

最新の機械式入浴装置を導入！

公益財団法人JKA「自転車等機械振興事業」の補助を受け、足羽利生苑デイサービスに最新の機械式入浴装置を導入しました。ご自宅での入浴が難しい方も、椅子に座ったまま安全に全身を温めていただけます。介護士が丁寧にサポートし、安心して入浴できる環境を整えています。補助金により実現した設備を活かし、今後も快適なサービス提供に努めてまいります。



認知症カフェを開催！

10月2日、美山地区で地域交流カフェが開催され、地域の方々約20名が参加されました。毎回ボランティアの家接さんご夫婦が進行をしてくださり、工夫を凝らしたスライドショーを発表いただきました。また参加された地域の方がご自慢の歌を披露したり、ボランティアによるハンドベル体験などが行われたりと充実した時間を過ごされました。参加者からは「楽しかった」「また来たい」との声が聞かれ、地域のつながりを深める交流の場となりました。



ハンドベルの演奏！

みんなで合唱！



あすわ祭り大盛況！

秋風が心地よく吹く10月16日、足羽利生苑駐車場にて部門合同のお祭りを開催しました。会場にはたくさんの屋台が並び、地域の活動団体による出し物に加え、今回は新たな取り組みとして事業所ごとの出し物も披露されました。利用者の皆様、職員、そして地域の方々が一体となり、笑顔あふれる賑やかな一日となりました。ご来場いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。



センターフェスを開催！

あすわ児童発達支援センターでは地域の方々に施設や支援内容を知ってもらうことを目的に「センターフェス」を開催しました。会場にはよきこいや太鼓体験、移動動物園など、子どもも大人も楽しめる体験型コンテンツが並びました。動物との触れ合いやカンパジ作りは大人気で、多くの親子の笑顔が見られました。また、会場内では事業所紹介も行われ、他事業者との情報交換も活発に行われました。楽しみながら地域とのつながりを深める温かなイベントとなりました。



和太鼓を体験！



足羽福祉会インフォメーション

足羽福祉会は、赤ちゃんからお年寄りまで、障がいの有無に関わらず「共に生きる」を目指しており、利用者様や職員をはじめ、地域への貢献も大切にしています。

えん展2025開催報告！

2025年12月10日より12月14日まで、5日間にわたり開催いたしました「〇展」は、皆様のおかげをもちまして、盛況のうちに無事閉幕いたしました。

今回のタイトル「ありがとう、これからも」に込めた思いのとおり、会期中は連日100名を超える大変多くの方々にご来場いただきました。障がい者アートに対する関心の高さと、皆様からの温かいご支援を肌で感じ、深く感謝申し上げます。

本展は2017年から数えて5回目の開催となりました。皆様からの温かい励ましのお言葉を胸に、今後も障がい者アートの振興に努めてまいります。

ご来場いただきました皆様、そしてご支援いただきました関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。



福祉の魅力を発信！

「障がい福祉の魅力発信」をテーマとしたパネルディスカッションを福井農林高校で行いました。当法人からは足羽サポートセンターの職員が登壇し、生活科学学科の1年生26名に「福祉職を目指したきっかけ」を振り返りながら、障がいのある方の社会復帰を支援する仕事のやりがい等を語りました。

その中で、働くうえで一番大事なのは「人」。私は職員に支えられて14年間楽しく仕事ができている。だからこそやりがいを感じることができている。という言葉に頷く学生さんのまなざしが、印象的でした。

この場を作っていただいた関係者の皆様。貴重な機会をいただきありがとうございました。



Q

「福祉かるた」を制作するに至った経緯を教えてください。

活動当初はSNSでの拡散のようなことを求められていると思いますが、インターンで現場の厳しさを実感し、表面的な情報発信は意味がないと考えました。また、2年生のときには福祉業界の人手不足という課題に取り組みたいと思っていましたが、学生の立場で直接的な解決は不可能だと考え、3年生の目標として福祉業界の「イメージ向上」を掲げました。その内容を伝える方法として、遊びながら知ることができる「かるた」が適していると考えました。

Q

2年間の活動を通じて、気持ちの変化はありましたか。

最初は労働環境が厳しく、職員も疲弊している暗いイメージでした。しかし実際は、職員は皆一生懸命で、職場もギスギスしておらず、非常に清潔でした。業界への見方が変わり、自分も真剣に向き合おうと思われました。

私もインターンをきっかけに見方が大きく変わりました。それまではお客様目線でしたが、3日間の体験でも大変さややりがいがあり、福祉との向き合い方が全く変わりました。

当初は福祉といえば高齢者や障がい者のイメージでしたが、子どもも含め、人生のどの世代にも深く関わるものだと分かりました。解像度が上がり、卒論で障がいをテーマにしたいと思うほど興味が深まりました。

イベントを振り返って～学生の皆さまより～

福祉かるたのイベントでは、的確なご指示や細やかなご意見を通して、学生だけでは得られない多様な視点や現場に即した学びを得ることができました。専門職の皆様が実際にかるたを手に取り、楽しみながら意見交換できたことがとても嬉しかったです！最終活動報告まであとわずかですが、今回の学びをかるたの改良や活動に活かしてまいります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

福祉のイメージをよくしたい!!

学生チームが挑んだ2年間の取り組み

～福井大学PBL×足羽福祉会～



福井大学国際地域学部の必修科目「課題探究プロジェクト（通称PBL（Project Based Learning）」は、学生が地域の企業や団体と力を合わせて、身近な課題の解決に取り組む実践型のプログラムです。1年次にPBLの基礎を習得したのち、2年生からは2年間にわたって自分たちのテーマをじっくり探求していきます。

今回お話をうかがったのは、そのPBLで福祉分野に挑戦した学生チームのみなさんです。

福祉業界の人手不足という課題に向き合い、学生ならではの発想で「福祉かるた」を制作してイメージアップを目指してきました。活動に参加したきっかけや、福祉に対する印象の変化、2年間の取り組みで得た気づきや今後の思いについて、ゆっくり語っていただきました。

Q

福祉活動に関心を持った個人的なきっかけはありますか。また、インターンシップでそれぞれの分野を選んだ理由はありますか。

将来、市役所でまちづくりに携わりたいと考えており、地域に根付いた福祉を学ぶことが良いまちづくりに繋がると考えました。福祉といえば高齢者というイメージがあったので高齢者分野を選びました。

親戚の家のお寺で子ども向けのイベントがあり、よく遊びに行っていました。子どもと関わるのがすごく楽しかったので、子ども分野が一番興味がありました。

結構これだっていう明確な理由はなく、おばあちゃんが好きだから高齢分野かな～という感じでした。だから正直最初はそこまで関心が大きくはありませんでした。

小学校から中学校にかけて、視覚障がい者施設の作業場でボランティアをしていました。また、障がい者をテーマにした漫画をよく読んでいたため、当事者を支える職員や家族の気持ちに興味があり、障がい者分野を選びました。